



平成 28 年 6 月 28 日

各 位

会 社 名 コネクシオ株式会社
代表者名 代表取締役社長 井上 裕雄
(コード番号 9422 東証第 1 部)
問合せ先 経営企画部長 神野 憲昭
(TEL. 03- 5331 - 3702)

当社の取締役会の実効性評価結果(概要)について

当社は「人をつなぐ、価値をつなぐ」という理念ステートメントのもと、安心して快適な社会の実現に貢献することで、全てのステークホルダーの皆様との信頼の絆を深め、継続的な企業価値の向上を図りたいと考えております。

企業価値向上のための一側面であるコーポレートガバナンスにつきましても経営上の重要課題であると認識し、継続的な強化を図っており、複数の独立社外取締役・監査役の選任や取締役会の任意の諮問機関の設置を始めとした経営の監督機能の強化、株主の権利・平等性が実質的に確保されるような適切な対応、適時・適切な情報開示、及び投資家の皆様との対話の充実に努めております。

この度、コーポレートガバナンス・コードの運営指針に基づき、当社の取締役会の実効性についての分析・評価をいたしましたので、その結果の概要をお知らせします。

なお、当社のコーポレートガバナンスにつきましては、当社ウェブサイトで公表しておりますので、ご参照ください。

- ・コーポレートガバナンス報告書 最終更新日：平成 28 年 6 月 28 日

http://www.conexio.co.jp/ir/irlibrary/cg-report/2016/pdf/cg-report_160628.pdf

記

1. 実効性の評価プロセス

取締役会の任意の諮問機関であり独立社外取締役が委員長を務めるガバナンス委員会が中心となり、取締役会の実効性評価を行い、取締役会においてその内容について検討・確認を行いました。

✓ 評価方法

- 取締役・監査役による自己評価（アンケート）
- 回答結果を事務局で集計を行い、ガバナンス委員会に報告
- ガバナンス委員会で分析・評価を行い、今後の取り組みを協議し提言を取りまとめ
- 取締役会において、ガバナンス委員会からの報告及び提言に基づき、今後の取り組みを決定

✓ アンケート項目

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 取締役会の構成 | : 取締役会の構成や選任方法 |
| 2. 取締役会の運営の基盤 | : 取締役会の運営の前提となる考え方の共有状況 |
| 3. 取締役会の運営 | : 取締役会の開催回数、議案数、時間、資料の過不足 |
| 4. 取締役会での意思決定プロセス | : 意思決定プロセスの妥当性 |
| 5. 取締役・監査役への
トレーニング機会の付与 | : トレーニング機会の充足度 |
| 6. 事業所の視察 | : 事業所などの視察の充足度 |

2. 実効性の評価結果

前述の評価プロセスにより、アンケート項目全般に亘り概ね適切であることを確認し、取締役会の実効性は確保できていると評価しました。ただし、アンケート項目「取締役会の運営の基盤」「取締役・監査役へのトレーニング機会の付与」「事業所の視察」の一部については改善の余地があると認められました。

3. 今後の取り組み

ガバナンス委員会からの更なる取締役会の機能向上のための提言を受け、取締役会は、以下の事項に取り組むことを決定いたしました。

✓ 中長期的な経営課題に関する議論の充実

取締役会付議事項の見直しを行い、中長期的な経営課題や戦略的な事項に関する議論をより一層深めてまいります。

✓ 取締役会に提出される資料の充実

論点を明確にしたエグゼクティブサマリーを作成するなど、取締役会に提出される資料を充実してまいります。

✓ 取締役・監査役へのトレーニングの機会の拡充

役員として求められる経営・会計・法務等の知識をより深めるため、既存の社内研修に加えて外部セミナー受講の機会を拡充してまいります。

✓ 事業所視察の計画的実施

社外取締役に対しては、変化の激しい業界の理解度を深めるため、事業所の現場視察の機会を計画的に提供してまいります。

これらの取り組みを通じて、当社は、取締役会の実効性の向上を図ってまいります。

以 上